

2013年3月期 第1四半期 決算説明会



LEXUS ES

トヨタ自動車株式会社
2012年8月3日

将来予測・インサイダー取引について

本資料には、当社(連結子会社を含む)の見通し等の将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報を基礎とした判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、将来における当社の実際の業績と大きく異なる可能性があります。なお、上記の不確定性および変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。

- ◆生産および販売面への影響を含む、自然災害による様々な影響
- ◆日本、北アメリカ、ヨーロッパ、アジアおよびトヨタが営業活動を行っているその他の国の自動車市場に影響を与える経済情勢、市場の需要ならびにそれらにおける競争的環境
- ◆為替相場の変動(特に日本円、米ドル、ユーロ、豪ドル、カナダドルおよびイギリス・ポンドの相場変動)および金利変動
- ◆金融市場における資金調達環境の変動および金融サービスにおける競争激化
- ◆効果的な販売・流通を実施する当社の能力
- ◆経営陣が設定したレベル、またはタイミングどおりに生産効率の実現と設備投資を実施するトヨタの能力
- ◆トヨタが営業活動を行っている市場内における法律、規制及び政府政策の変更で、特にリコール等改善措置を含む安全性、貿易、環境保全、自動車排出ガス、燃費効率の面などにおいてトヨタの自動車事業に影響を与えるもの、または将来の訴訟やその他の法的手続きを含めたトヨタのその他の営業活動に影響を与える法律、規制及び政府政策の変更など
- ◆トヨタが営業活動を行っている市場内における政治的な不安定さ
- ◆タイムリーに顧客のニーズに対応した新商品を開発し、それらが市場で受け入れられるようにするトヨタの能力
- ◆ブランド・イメージの毀損
- ◆仕入先への部品供給の依存
- ◆原材料価格の上昇
- ◆デジタル情報技術への依存
- ◆トヨタが材料、部品、資材などを調達し、自社製品を製造、流通、販売する主な市場における、燃料供給の不足、交通機能のマヒ、ストライキ、作業の中断、または労働力確保が中断されたり、困難である状況など

以上の不確実性および変動要素全般に関する追加情報については、当社の有価証券報告書または米国証券取引委員会に提出された年次報告書(フォーム20-F)をご参照ください。

将来予測・インサイダー取引について

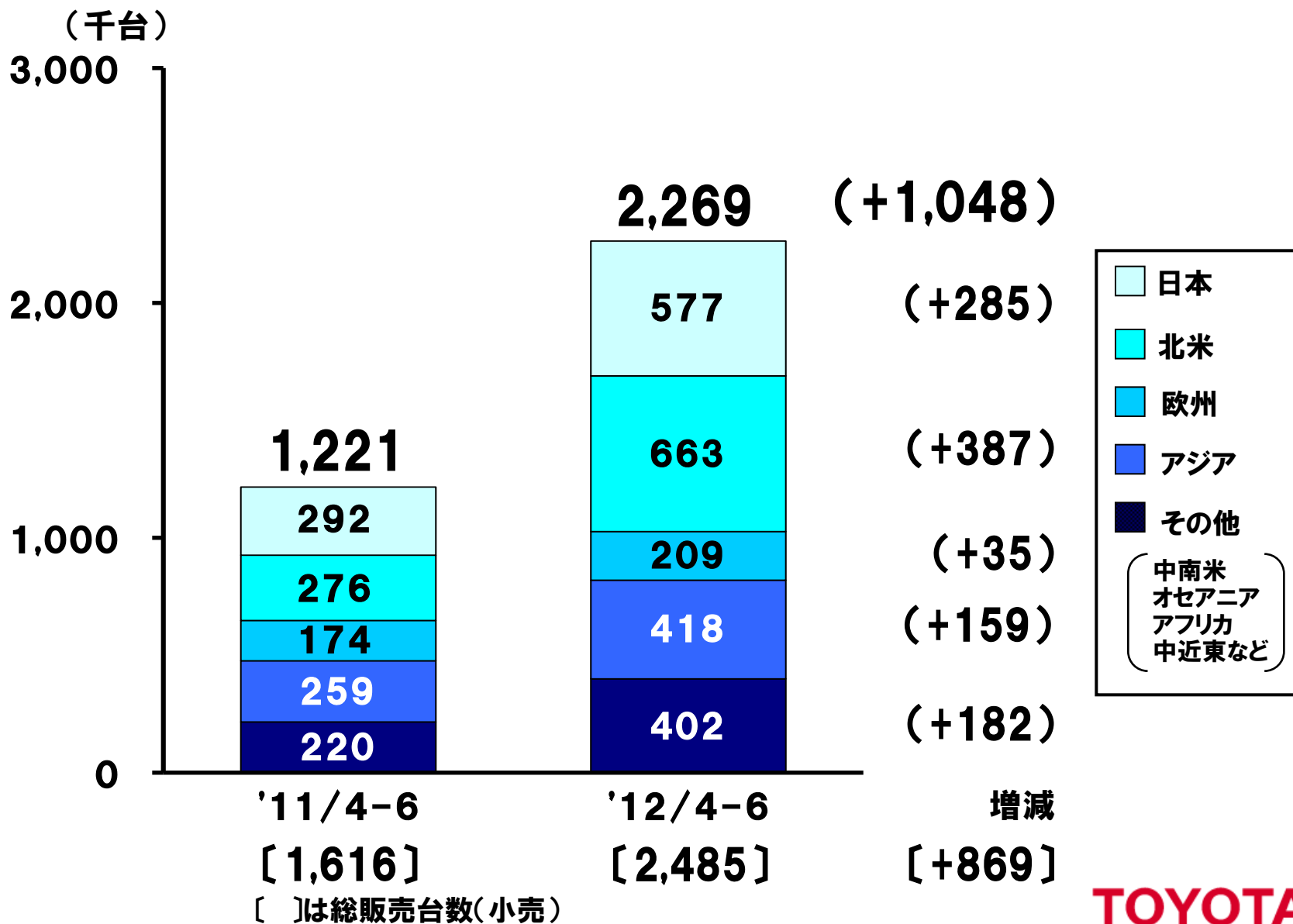
インサイダー取引に関するご注意:

企業から直接、未公開の重要事実の伝達を受けた投資家(第一次情報受領者)は、当該情報が「公表」される前に株式売買等を行うことが禁じられています(金融商品取引法166条)。同法施行令により、二以上の報道機関に対して企業が当該情報を公開してから12時間が経過した時点、または、証券取引所に通知しかつ内閣府令で定める電磁的方法(TDnetの適時開示情報閲覧サービス)により掲載された時点を以って「公表」されたものとみなされます。

2013年3月期 第1四半期決算

【実績】

連結販売台数



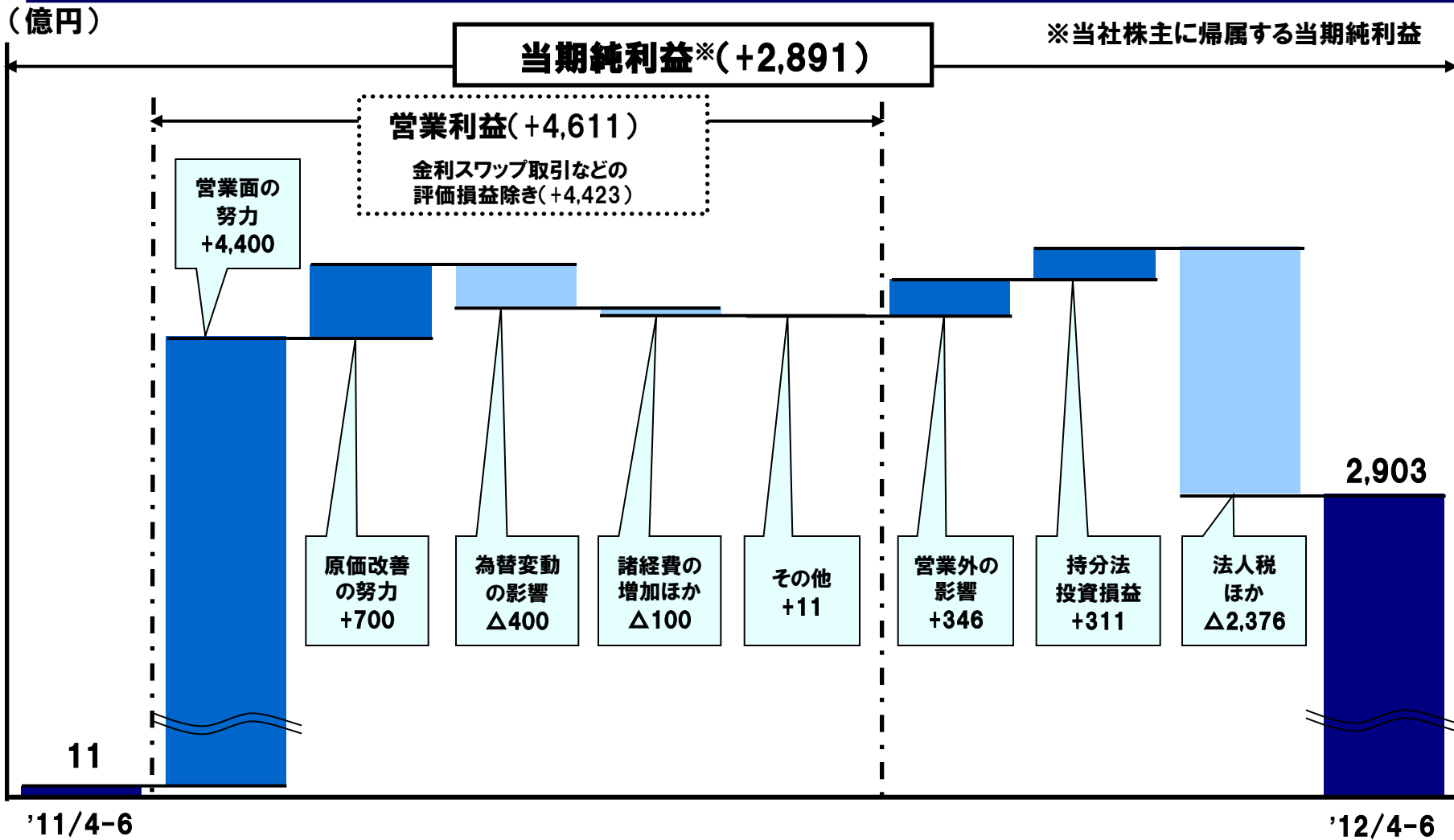
連結決算要約

(単位:億円)

	当第1四半期 (’12/4-6)	前年同期 (’11/4-6)	増減	
			増減	増減率
売上高	55,015	34,410	20,605	59.9%
営業利益	3,531	△ 1,080	4,611	-
税金等調整前 当期純利益	4,152	△ 805	4,957	-
当期純利益※	2,903	11	2,891	-
為替レート	ドル	80円	82円	2円の円高
	ユーロ	103円	117円	14円の円高

※当社株主に帰属する当期純利益

連結当期純利益※ 増減要因



<諸経費の増加ほか 内訳>

研究開発費の増加..... △100
 減価償却費および
 設備関係費の増加.....△50

労務費の減少.....+50
 その他..... 0

<その他 内訳>

金利スワップ取引などの評価損益.....+188
 海外子会社の営業利益換算差ほか.....△177

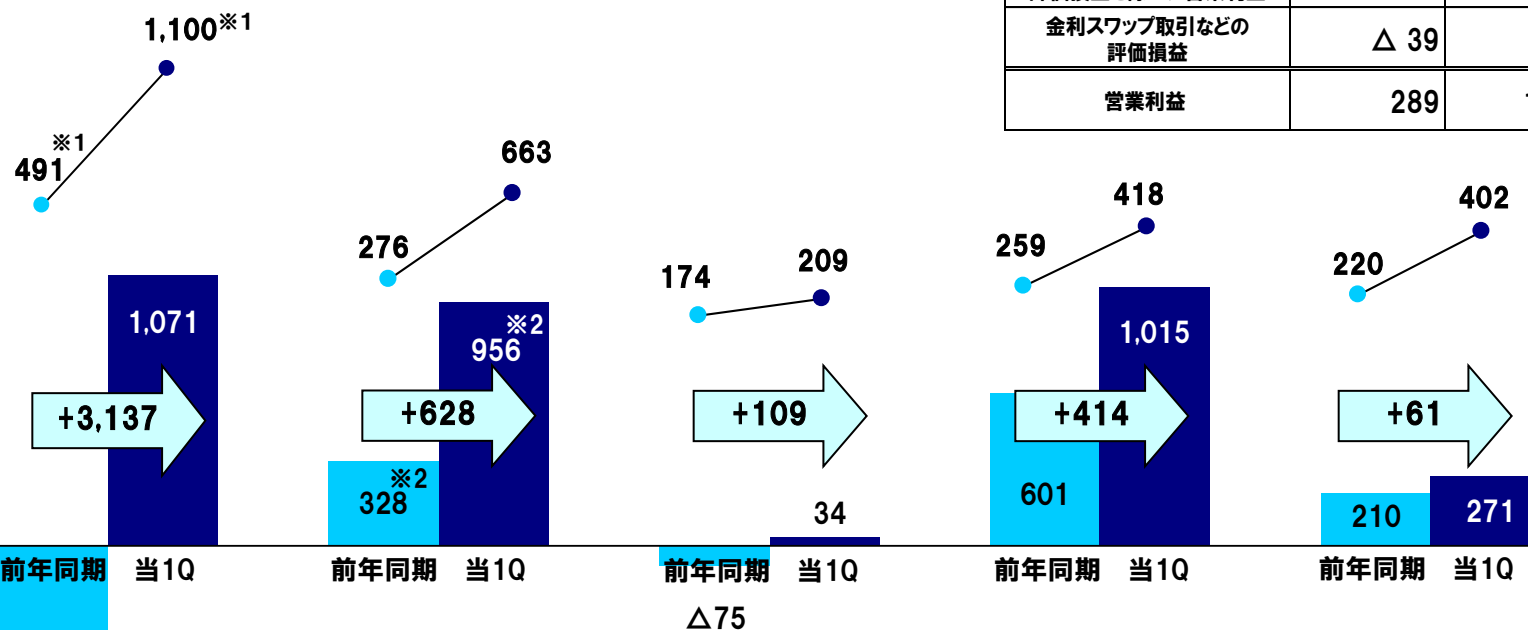
所在地別営業利益

【連結販売台数】(千台) (※1 日本は輸出台数を含む)

(※2 北米のみ、金利スワップ取引などの評価損益の影響を除く)

(単位:億円)

《北米》	'11/4-6	'12/4-6	増減
金利スワップ取引などの評価損益を除いた営業利益	328	956	628
金利スワップ取引などの評価損益	△39	220	258
営業利益	289	1,176	886



《日本》

《北米》

《欧州》

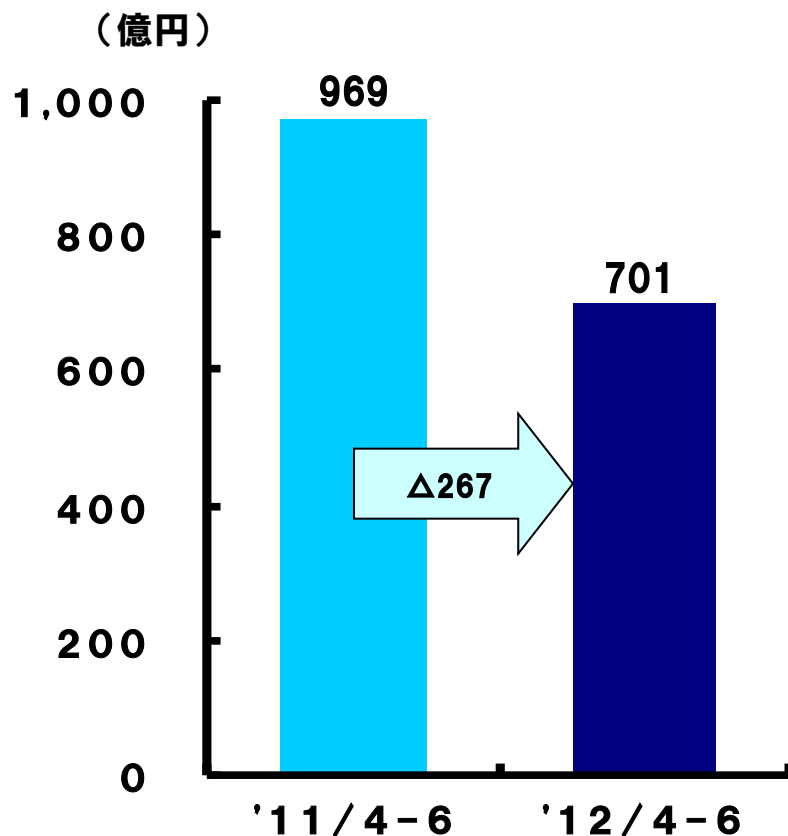
《アジア》

《中南米・オセアニア・アフリカ地域》

金融セグメント営業利益

金利スワップ取引などの
評価損益の影響を除く

9

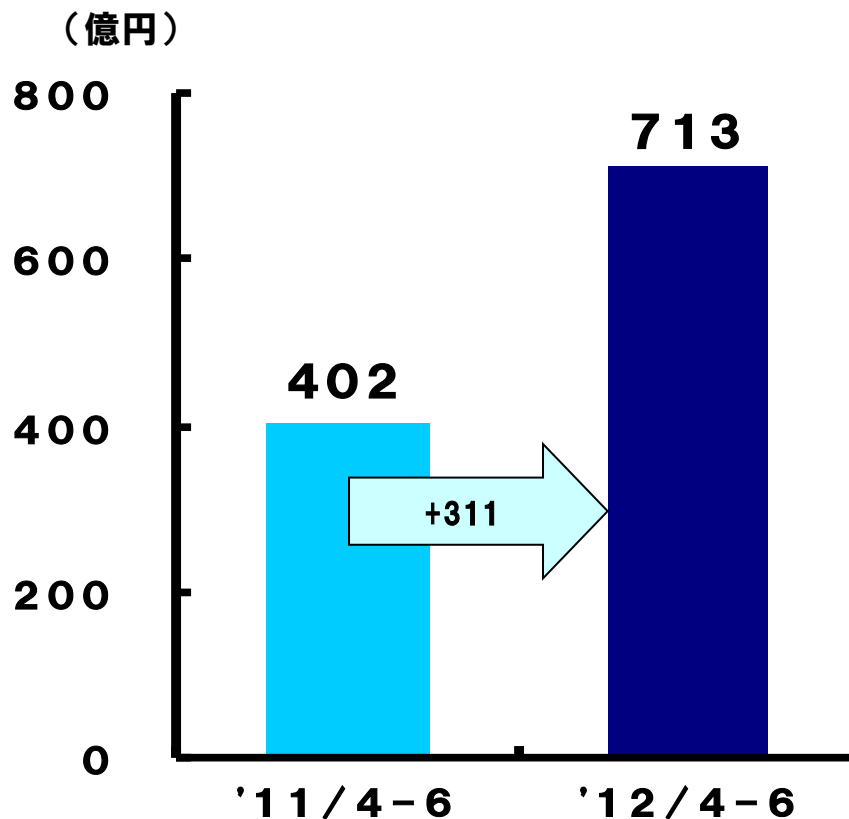


(単位:億円)

	'11/4-6	'12/4-6	増減
金利スワップ取引などの 評価損益を除いた営業利益	969	701	△ 267
金利スワップ取引などの 評価損益	△ 23	165	188
営業利益	946	867	△ 78

引当金の戻し入れの減少等により、減益

持分法投資損益

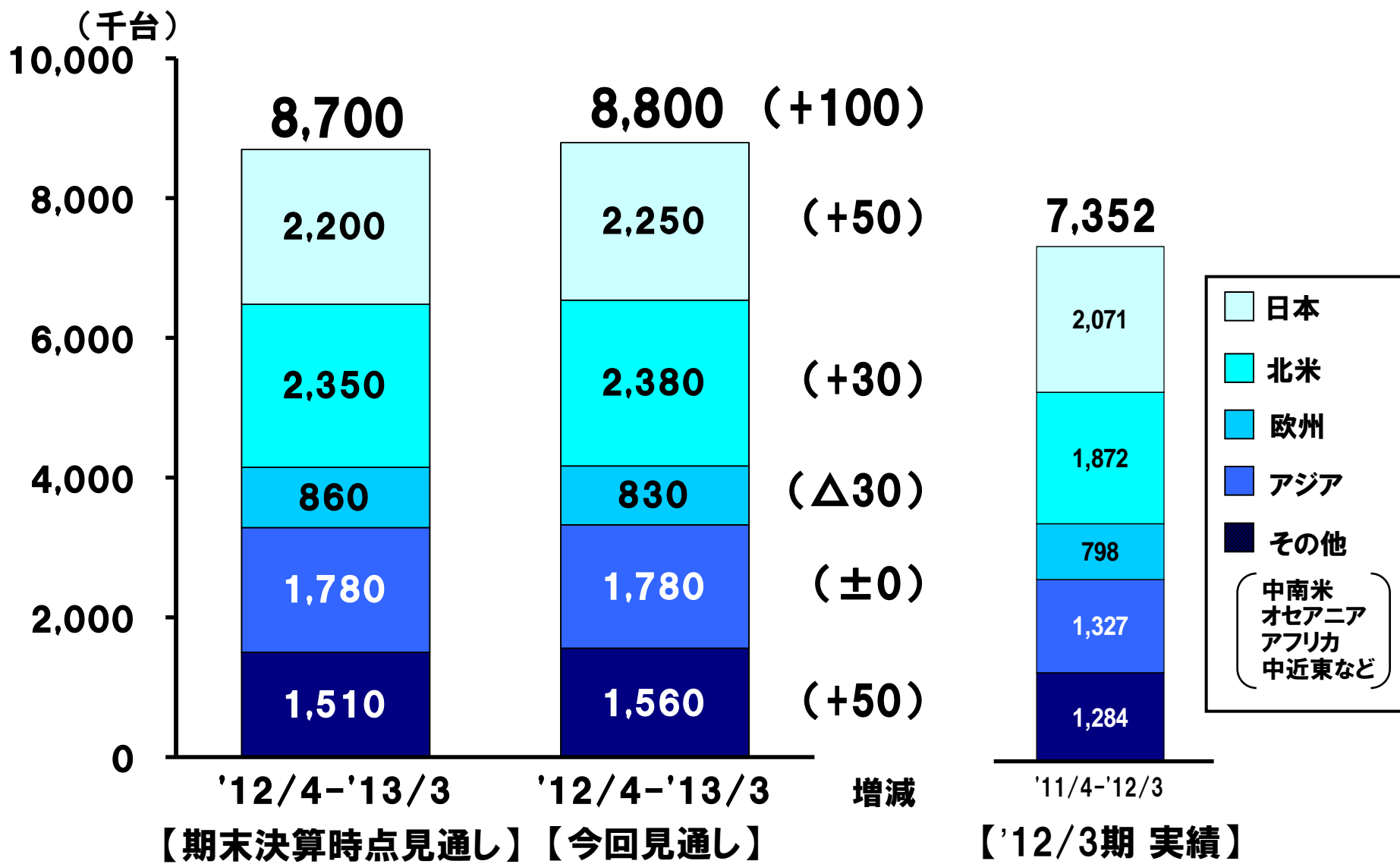


国内および中国の持分法適用会社損益の増加により、増益

2013年3月期

【見通し】

'13年3月期見通し: 連結販売台数



'13年3月期見通し:連結決算

13

(単位:億円)

		今回見通し ('12/4-'13/3)	期末決算時点 見通し ('12/4-'13/3)	増 減	前期実績 ('11/4-'12/3)
売上高		220,000	220,000	±0	185,836
営業利益		10,000	10,000	±0	3,556
税金等調整前 当期純利益		11,600	11,600	±0	4,328
当期純利益 ^{※1}		7,600	7,600	±0	2,835
為替レート	ドル	80円 ^{※2}	80円	-	79円
	ユーロ	101円 ^{※2}	105円	4円の円高	109円

※1 当社株主に帰属する当期純利益

※2 '12年7月以降の前提為替レート:ドル80円、ユーロ100円

TOYOTA

'13年3月期見通し増減要因:連結決算

(vs 期末決算時点見通し)

(単位:億円)

		営業利益
期末決算時点見通し('12/4-'13/3)		10,000
増益要因	営業面の努力	+500
	うち 金融事業	±0
	原価改善の努力	+300
	小計	+800
減益要因	為替変動の影響	△700
	諸経費の増加ほか	△100
	小計	△800
合計		±0
今回見通し('12/4-'13/3)		10,000

設備投資 見通し :8,200億円(前回見通しから変更なし)
 減価償却費 見通し:7,300億円(前回見通しから変更なし)
 研究開発費 見通し:8,100億円(前回見通しから変更なし)

2013年3月期 第1四半期 決算説明会



カローラ アクシオ

トヨタ自動車株式会社
2012年8月3日

【ご参考】

単独決算要約(日本基準)

(単位:億円)

	当第1四半期 ('12/4-6)	前年同期 ('11/4-6)	増 減	
				増減率
売上高	24,808	12,073	12,734	105.5%
営業利益	188	△ 1,946	2,135	-
経常利益	2,415	△ 36	2,451	-
当期純利益	1,888	506	1,381	272.6%

【ご参考】

'13年3月期見通し: 単独決算

17

(単位: 億円)

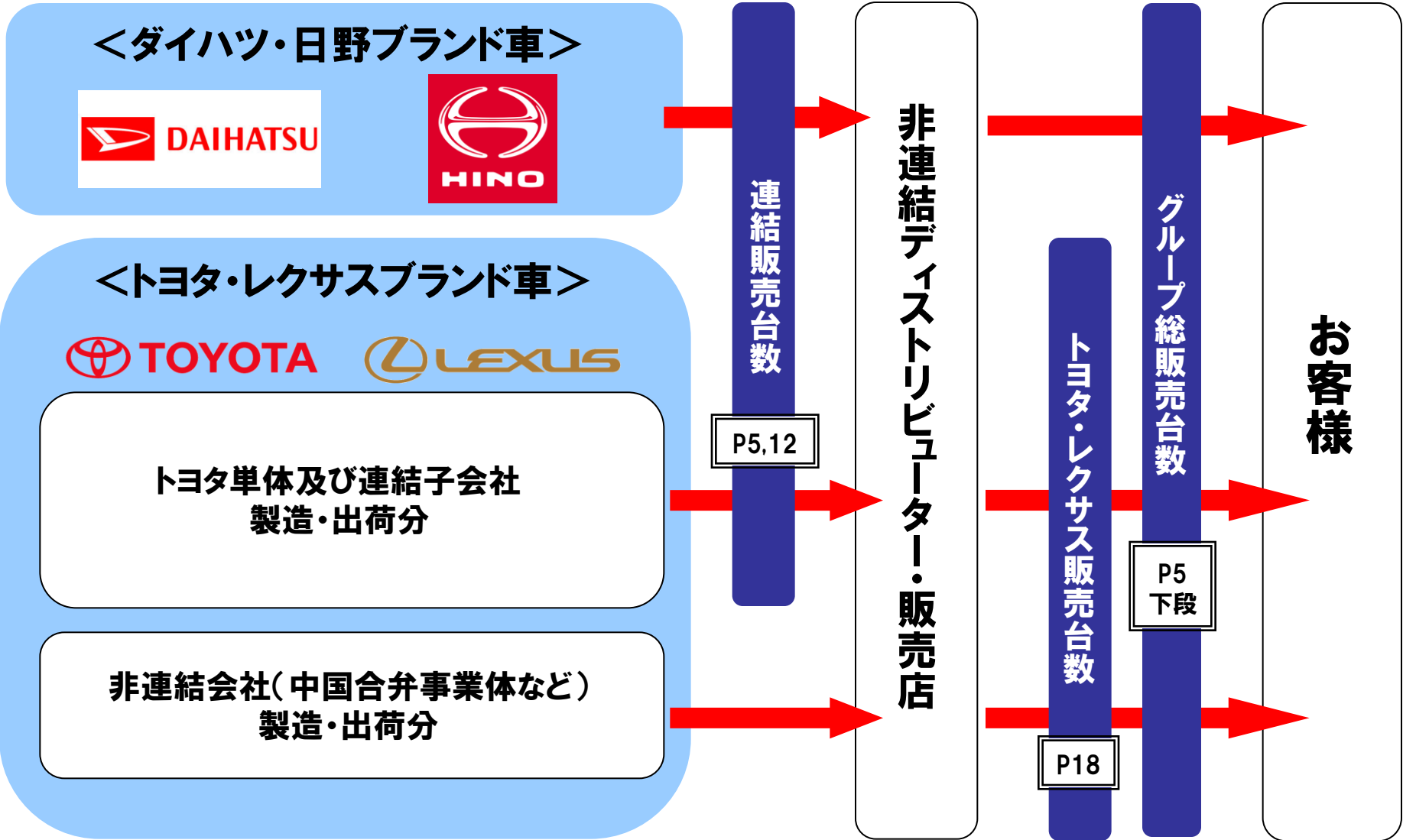
	今回見通し ('12/4-'13/3)	期末決算時点 見通し ('12/4-'13/3)	増 減
売上高	95,000	95,000	±0
営業利益	△ 700	△ 700	±0
経常利益	5,000	4,400	600
当期純利益	4,200	3,600	600

【ご参考】**'13年3月期見通し：台数(トヨタ・レクサス)**

18

		'13/3期見通し ('12/4-'13/3)	'12/3期実績 ('11/4-'12/3)
生産	国内	3,400 千台	3,119 千台
	海外	5,300	4,410
	合計	8,700	7,529
販売	国内(小売)	1,600	1,413
	海外	7,200	5,999
	合計	8,800	7,412
輸出		1,950	1,670

【ご参考】 販売台数について



※一部例外的に、上記フローに当てはまらないケース有り